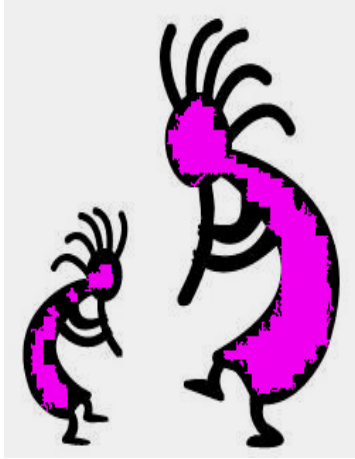


平成 30 年 4 月 (No177)

秋 山 医 院
藤岡市小林748-8
☎0274-22-8315

医院だより



四月 別名 卯月(うづき)、建巳月(けんしげつ)、孟夏(もうか)

卯月は『卯の花月』とも。桜の散ったあとの余りの月の意から、余月、桜花がない月という意味から隠月とも呼ばれました。

『四月の花』

さくら、たんぽぽ、チューリップ、山吹、ハナミズキ、すみれ、かたくり、一輪草、座禅草、熊谷草

花桃と赤城(鍋割)



『四月の言葉』

天職のありか

己(おの)が天職を知らんと欲する者多し、言ふ、我にして若(も)し我が天職を知るを得ん乎(か)、我は我が全力を注ぎて之(これ)に当たらんと。

人よ、汝は天職を知るを得るなり、汝は容易に之を発見するを得べし。

汝の全力を注ぎて汝が今日従事しつつある仕事に当るべし、然(しか)らば遠からずして汝は汝の天職に到達するを得べし、汝の天職は天よりの声ありて汝に示されず、汝は又思考を凝らして之を発見する能(あた)はず、汝の天職は汝が今日従事しつつある職業によって汝に示さるるなり、汝は今や汝の天職に達せんとしてその途中に在るなり、何ぞ勇気を鼓舞して進まざる、何ぞ墮想に耽りて天職発見の時期を遅滞せしむや。

『天職発見の途』一九一三年十月十日内村鑑三全集(二十)

『四月の暦』

- 一日 新学年、新会計年度、親鸞聖人誕生会、エープリルフール、復活祭
- 三日 隠元禪師忌
- 五日 清明 桜花爛漫、天地万物清新の気が満ち溢れます。
- 七日 法然上人誕生会、世界保健デー
戦艦大和撃沈(一九四五)
- 八日 花まつり、灌仏会
- 十一日 メートル法公布記念日
- 十二日 世界宇宙飛行の日
- 十三日 巖流島の決闘、啄木忌
- 十八日 発明の日
- 二十日 穀雨 この頃の春雨は田畑をうるおし、穀物の成長を助けます。
郵政記念日
- 二十二日 靖国神社春祭、
- 二十四日 初の日本ダービー(一九三二)
- 二十九日 昭和の日、米沢上杉まつり
- 三十日 荷風忌

参考 鈴木充広著「暮らしに生かす旧暦ノート」河出書房
白井明大「日本の七十二候を楽しむ」(東邦出版)、
平成二十九年神宮館運勢暦(神宮館)
日本大歳時記・暮らしの歳時記(講談社)
暮らしの歳時記365日』 今日は何の日か?』(講談社)

お知らせ

一、保険証の提示について

月の最初の受診時には、受付に保険証を提示ください。

二、当番医は 四月二十二日(日)です

三、診療案内

○ 一般外来診療・往診・在宅医療

○ 禁煙外来

○ 骨粗鬆症の検査・治療

○ ピロリ菌有無の検査と除菌

○ CT、MRI、PETの予約

○ 胃カメラ・大腸カメラ

○ 肺炎球菌・带状疱疹ワクチン

四、外来の一部予約制の利用について

☆1時間**2名**ずつ、予約制で診療を行います。前日までに受付でご予約ください。是非ご利用下さい。電話でも予約できます。

五、四月十三日(金)午後の外来は、

午後四時半から診療開始となります。ご迷惑をおかけします。受付は通常通り3時からです。

六、群馬県保険医協会二十四時間健康テレホン

電話〇二七―二三四―四九七〇

<http://www.rajin.com/kenko/>

月曜	痛風のはなし
火曜	口臭の原因
水曜	排卵と月経のしくみ
木曜	ガムは歯に悪いか
金曜	お子さんの耳は大丈夫？
土日	ホクロの癌(メラノーマ)



花の街

作詞 江間章子
作曲 團伊玖磨

一 七色の谷を越えて

流れて行く 風のリボン

輪になって 輪になって

かけていったよ

春よ 春よと

かけていったよ

二 美しい海を見たよ

あふれていた 花の街よ

輪になって 輪になって

踊っていたよ

春よ 春よと

踊っていたよ

三 すみれ色してた窓で

泣いていたよ 街の角で

輪になって 輪になって

春の夕暮れ

一人さびしく

泣いていたよ

(昭和二十一年)

昭和二十年三月一日の東京下町の大空襲で岩手に疎開した作詞者江間章子は、終戦のラジオをきいても動ずることなく畑に出て行って働く農民の

姿をみて、その年の秋には帰京し、実業

之日本社発行の『少女の友』に連載を始

めて生活していた。帰京した直後、江間

は、大井町駅前で男女五、六人が、カル

メンの「ハバナエラ」を歌うのを聴き、「焼

跡に現れた天使」と感嘆、初めて慰めら

れる音楽に出会ったと述懐しています。

そんな折、江間はNHKに誘われます。

音楽部長、吉田 信、詩人、深尾須磨子、

作曲家、高木東六、服部 正らが集まり、

『焦土の中で生きる力を失っている人た

ちに、夢と希望を与える歌を提供したい』

という気持ちを込めて「ラジオ歌謡」と

いう番組が生まれた。一週に一曲、新曲

を放送し、国民的な番組になっていきま

す。江間は昭和二十一年「花の街」を作

詞し、偶然の出会いで、東京音楽大学を

卒業したばかりの團 伊玖磨が作曲をす

ることになりました。團がこれを室内楽

伴奏の女声合唱曲にまとめて発表すると

大きな反響を呼ぶことになります。その

後、中学、高校の教科書にも採用され、

今でも親しまれています。

学習研究社『私の心の歌春』参考



けんこう (101)

花粉症について

はじめに

今年花粉症が強いと予想されていましたが予想通りになりました。私は雪国の山の中でスギ花粉に黄色く染まって遊んで育ちましたが、十九歳で上京した途端、ものすごい量の鼻水に襲われて東京の空気の悪さだと解釈していました。その後花粉症の名前が知られるようになってきて、今や、国民の約四分の一が花粉症になっており、さらに増え続けているのです。今年も花粉症について整理してみます。

一、花粉症とはどんな病気？

- ① アレルギー疾患である
- ② 患者数は毎年増加している(10年で1.5倍)
- ③ スギ花粉症が最も多い(26%)
- ④ 猛暑の翌年に多い
- ⑤ 飛散量が多くなると新たに発症する人も増加

二、増加の背景

- ① スギ花粉飛散量の増加
- ② 累積患者数が増加(自然治癒が少ない)
- ③ 体質の変化(食生活や衛生環境の変化)

三、原因花粉

・春 (樹木花粉)

スギ、ヒノキ、ハシノキ、シラカバ

・夏 (イネ科草木花粉)

カモガヤ、オオアワガエリ、スズメノテツポウ

・秋 (雑草木花粉)

ブタクサ、カナムグラ、ヨモギ

地域的には、

本州から九州 スギ花粉、

北海道 シラカバ花粉が多い

四、どんな症状が出るのでしょうか？

- ① 鼻アレルギー症状
3主徴 くしゃみ、鼻水、鼻づまり
- ② 眼アレルギー症状
掻痒、眼瞼結膜充血、流涙、異物感
- ③ 全身症状
全身倦怠、熱感、寒気、頭痛、めまい

五、花粉症の発症のしくみ

- ① 花粉が入る
- ② IgE抗体が出来る
- ③ IgE と 肥満細胞が結合
- ④ 花粉が再度入る
- ⑤ 排除しようとして肥満細胞から化学伝達物質が放出
- ⑥ 鼻や眼の知覚神経、分泌腺、血管を刺激
- ⑦ くしゃみ、鼻水、鼻づまり

六、検査・診断

- ① 問診
- ② 鼻鏡
- ③ 皮膚テスト(皮内反応)
- ④ 血液検査(IgEの増加)
- ⑤ 鼻汁・涙液中の好酸球検査(増加)
- ⑥ 誘発試験・

七、治療方針

1 薬物療法

初期治療として、予測された花粉飛散開始日の2週間前から、

- ① 抗ヒスタミン薬
- ② ケミカルメデイエーター遊離抑制



③ 抗ロイコトリエン薬
を投与することにより季節初期の症
状が良く抑えられる。

2 手術療法

- ① 鼻粘膜焼灼手術 レーザー焼灼
- ② 鼻腔整復手術 鼻中隔彎曲症の整復

3 アレルゲン免疫療法

- ① 皮下注射
- ② 舌下免疫療法

4 生活指導

- ① 花粉の回避
- ② 花粉情報に注意する。
- ③ 飛散の多い日は
外出を控える
窓、戸を閉めておく
- ④ マスクやメガネ、帽子の使用
- ⑤ 帰宅したら、洗顔、うがい、鼻をかむ
- ⑥ 家の中の掃除も励行する



メガネ、マスクの効果

鼻の中と眼に入る花粉数—実験的なマスク、メガネの効果

	鼻の中の花粉数	結膜の上の花粉数
マスクなし メガネなし	1,848個	791個
通常のマスク 通常のメガネ	537個	460個
花粉症用マスク 花粉症用メガネ	304個	280個

日本医科大学耳鼻咽喉科 大久保 公裕

考えていた以上に効果があるようです。

ペチコート水仙



院長のひとりごと (百四十八)

電話にまつわる話(一)



◇ 小学校に上がったかまだ上がつてないころのことです、母に連れられて母の実家に行ったときのことでした。

入り組んだ家の造りで、診療室から座敷・茶の間などを通らずに台所に抜ける狭い廊下

があつた。この途中に、医家だったので当時わたしが目にしたこともない器械が壁についているのに気付きました。長方形の木の箱のわきにハンドルが付いていました。

※ ※ ※ ※ ※ ※

このハンドルを、家で触っていた蓄音器のそれと間違えてぐるぐると回したら何か騒々しい音がした、人たちがどうしたかと集まつて来た、あとはなにもおぼえていない。とても大変なことをしたらしい。

電話のことでいちばん先に思いついたのは、子どもの時に受けた文明の機器とのショッキングな出会いでした。

※ ※ ※ ※ ※ ※

◆もの好きで新しいものをすぐに買い集める人、だと母が称していた父は、戦前から蓄音器を買いこみ姉や兄たちにレコードを買つてきて聴かせてくれました。

これは次兄のレコード、これは三兄のレコードというふうにもたちは自分のものがかまっていた。

三兄のそれは「急げ幌馬車」という物語を劇と歌(松平晃唄)で構成したもの(昭和9年)であつた。私には決まったものはなかったが、いつの間にかオッフエンバックの「天国と地獄」が私のものとなっていた。大きな音

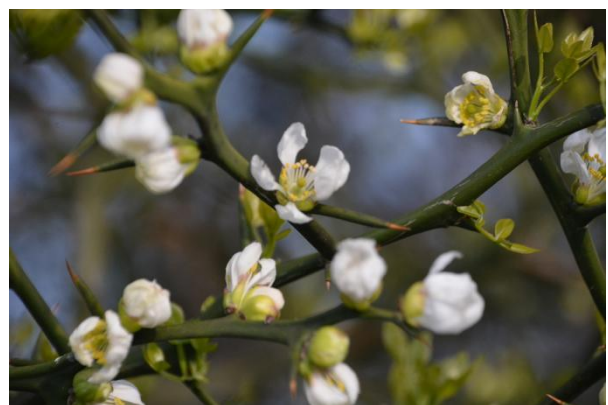
で調子が激しくなつたところでは私はいつも逃げだしていた。

◇ある日、父が嬉しそうに新しいレコードを買つてきて床の間に置くとうとしたとき三兄だつたか、それを落つこととして割つてしまつた。当時のレコードはわずかの衝撃で簡単にわれてしまったのです。

父はがっかりした様子を見せましたが、だれも叱らなかつたことを今でも不思議に思つています。

◆蓄音器の動力はぜんまいバネと言われる3-4センチ幅の鋼鉄で出来た帯でこれを渦巻き状(ぜんまい様)に巻いて締めて行きこれがほどけるときの反動で回転を生じレコードを載せた円盤がまわるのでした。巻きが少ないと、レコードの途中で回転しなくなることもあり、長い時間回そうとねじが固くなつてももつともつと巻きすぎるとぜんまいが切れ壊れてしまいます。

父がそれを自分で修繕するか時計屋さん修理を頼むと蓄音器はしばらくお預け状態になります。土蔵までの通路の廊下には破損したものが何本か吊り下げられていました。後で何かに使えるだろうと破損物でも父はなかなか捨てません。



からたちのトゲは痛いよ

◇針の振動は雲母で造られた膜に伝わりこれが円筒状のアームから蓄音器の中の渦巻き状の空間に伝わり、丁度ホラ貝の様に拡大された音が前面から出て来ます。しかし音の調節はできません。ただ針の振動を雲母盤に伝える鋼線状のものを触ると音が小さくなりました。

◆小学校の頃は、蓄音器を聴くのは自分だけとなり、結構重いものを土蔵のぼろ屑の中から引つ張り出して持ち出して来て、軍艦マーチや君が代進行曲を鳴らしていると、見つか

るとアメリカにつれて行かれるぞと母に脅されました。

そうはいつでも行進曲のリズムの良さにはいつもあこがれていました。

◇村で、戦争から帰って来た人たちが、戦地では針が手に入らないからはがきの角をレコードの溝に当てて聴いていたと話しているのを聴きつけ早速試したところ確かに聞こえたことを想い出します。得意そうに話していたらレコードが傷むから止めると長姉から叱られました。

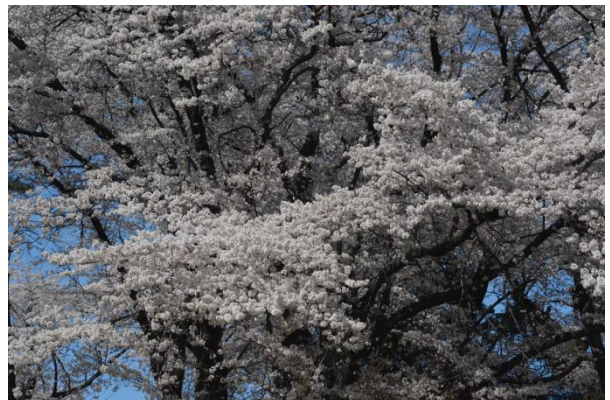
◇仕事について10年もしたころ、今から30年も前に、家で動かなくなっていた蓄音器を前橋まで運んできて、古いオルゴールなどを修理している人が赤城の方にいることを新聞で見たので、訪ねて行き、修理してもらいました。その後、蓄音器で全部のレコードをを鳴らし、その映像をビデオカメラで撮って保存しました。



◆昭和36年、私が中学校に入ったころ父は電蓄(電気蓄音機)を買ってくれました。これにはラジオも付いており、自分の好きな部屋にもち運びができました。それまではラジオは家の部屋の一か所の壁に据え付けられており、当時の人気番組「新諸国物語」五部作の『白鳥の騎士』『笛吹童子』『紅孔雀』『オテナの塔』『七つの誓い』を母と子どもたちが全員でその部屋に集まり座って聴いたものでした。終わると母から感想を尋ねられました。

◇電蓄はねじを巻く手間も不要、音量・音質も調節できましたので、大きい音で聴いて夢中になっていると、家族の響聲(ひんしゆく)を買うことしばしばでした。

◆レコードは最初はソノシートという薄い塩化ビニール製で、針はダイヤモンドでアームは軽く造られました。これまでの鉄製針はレコード2〜3面聴くと先端がすり減って音がかすれて聴けなくなってしまうましたが、新しい針は200時間くらいは保つと言われていました。



◇原理はいまだに理解できないのですが、当時鉱石ラジオというものを手に入れ、小さな音で聴いていました。これをラジオのスピーカーにつなげば大きな音で聞こえるのではないかと考え、いじりまわして感電しかけたことがなんとありました。

◆母は、父もいろんな機械を分解してはみるが多かったが、直らないばかりでなく元になつたためしかなかったよと、父へのあてつけとも私への同情ともあきらめともとれることをよく語りました。機械に弱い遺伝子は見事に子どもたちに伝わっています。

◇収集癖・新しもの好きなど負(?)の遺伝子

も私には色濃く伝わり機械やら本やら
気に入るとすぐ買いこんで足の踏み場
もなくしている姿は、父の様でもあり、
呆れてものが言えなくなっている家内に
遠い母の姿を見て苦笑いしています。



アケビの花

